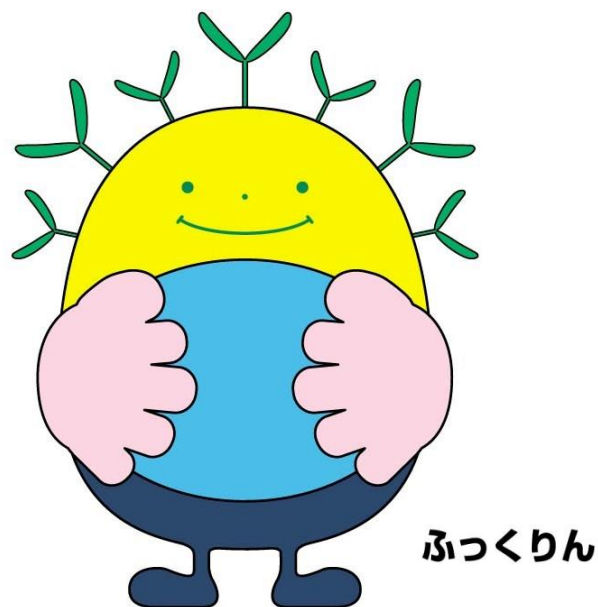


令和元年度 ふくいの木の利用の促進に関する施策の実施状況



1 県産材の利用推進

- ・県産材の利用を推進する「ふくいの木使ってもらい隊(県と木材関係団体で組織)」(平成29年8月結成)において、社会福祉法人や保育園など108社を訪問し、木製遊具などで県産材を利用
- ・三井ガーデンホテル神宮外苑の杜プレミアや東京ビッグサイトなど県外の民間施設に県産材を利用
- ・ふくいの木の利用推進月間の10月に「みんなでつかおう『ふくいの木』の祭典」を開催し、10,600人が来場



保育園（木製遊具）での利用
（越前市）



三井ガーデンホテル神宮外苑の杜
プレミアでの利用（東京都）
（写真：川澄・小林研二写真事務所）



みんなでつかおう「ふくいの木」の祭典
（総合グリーンセンター）

2 新たな分野での利用開拓

- ・国内最大規模の展示会「ジャパンホームショー」などへの出展や商談会の開催などにより販路を開拓
- ・台湾の展示会「台北国際建築建材及び産品展」に福井県として初めて出展し、海外への販路を新たに開拓
- ・永平寺町の宿泊施設に県産材を使用した製品を設置



大規模展示会への出展
(東京都)



海外展示会への出展
(台湾)



宿泊施設の室内設備での利用
(永平寺町)

3 合板、木質バイオマスでの利用拡大

- ・合板工場や木質バイオマス発電施設に対し、間伐材を安定的に供給
- ・若狭町に原木を集積するウッドターミナルを整備し、A、B、C材に仕分け大型工場等に輸送
- ・温泉施設ボイラーへの木質チップの安定供給を図るための加工機械を整備し、地域内の森林資源を同じ地域内でエネルギー利用する取組みを推進



福井県産スギ合板
(合板工場：県外)



ウッドターミナル
(若狭町)



木質チップ加工機械
(あわら市)